

第2回 東京都建築物の脱炭素化に係る検討委員会 議事要旨

1 日時

令和5年9月5日（火） 10:00～12:30

2 場所

東京都庁第二本庁舎3階建設工事紛争審査会室（オンライン併用）

3 出席者

【委員（学識経験者）】 早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 建築学科 教授 田邊 新一
お茶の水女子大学 基幹研究院 自然科学系 教授 長澤 夏子

【委員（行政）】 区市町村 111名

【幹事】 東京都 都市整備局 市街地建築部 建築企画課長◎（事務局）
東京都 環境局 気候対策変動部 事業支援担当課長

※◎…検討協議会会長

4 議事

- (1) 生活と再生可能エネルギーについて（お茶の水女子大学 長澤教授）
- (2) 策定指針（素案）に向けた検討
- (3) アンケート結果（抜粋）

5 議事要旨

（事務局担当者）

第2回東京都建築物の脱炭素に係る検討協議会を始めさせていただきます。

本日はお忙しいところ、本協議会にご参加いただきありがとうございます。

最初に東京都側及び学識経験者の出席者について簡単に自己紹介させていただきます。

学識経験者のご紹介をさせていただきます。

お茶の水女子大学の長澤教授には、今回より正式な委員としてご参加いただきます。よろしくお願いたします。

また、本日も区市町村から多くの皆様にご参加いただいておりますが、時間の都合上、大変恐れ入りますが割愛させていただきます。

それでは本協議会の会長より、みなさまにご挨拶をお願いいたします。

（会長）

本日はお忙しい中、第2回東京都建築物の脱炭素化に係る検討協議会にご参加いただき、誠にありがとうございます。

また、第1回以後のアンケートへのご対応など、今回も皆様より多くのご協力をいただき、改めてお礼申し上げます。

前回は、促進計画の策定指針に向けた基本的な考え方を皆様と共有させていただきました。今回は、その中から、さらに検討を深め、指針の骨格をより具体的にしていきたいと考えています。

特に、特例適用要件については、本制度の柱とも言える重要な部分だと考えています。ぜひ皆さまと積極的なご議論ができればと思いますので、よろしく願いいたします。

(以下非公表)

以上